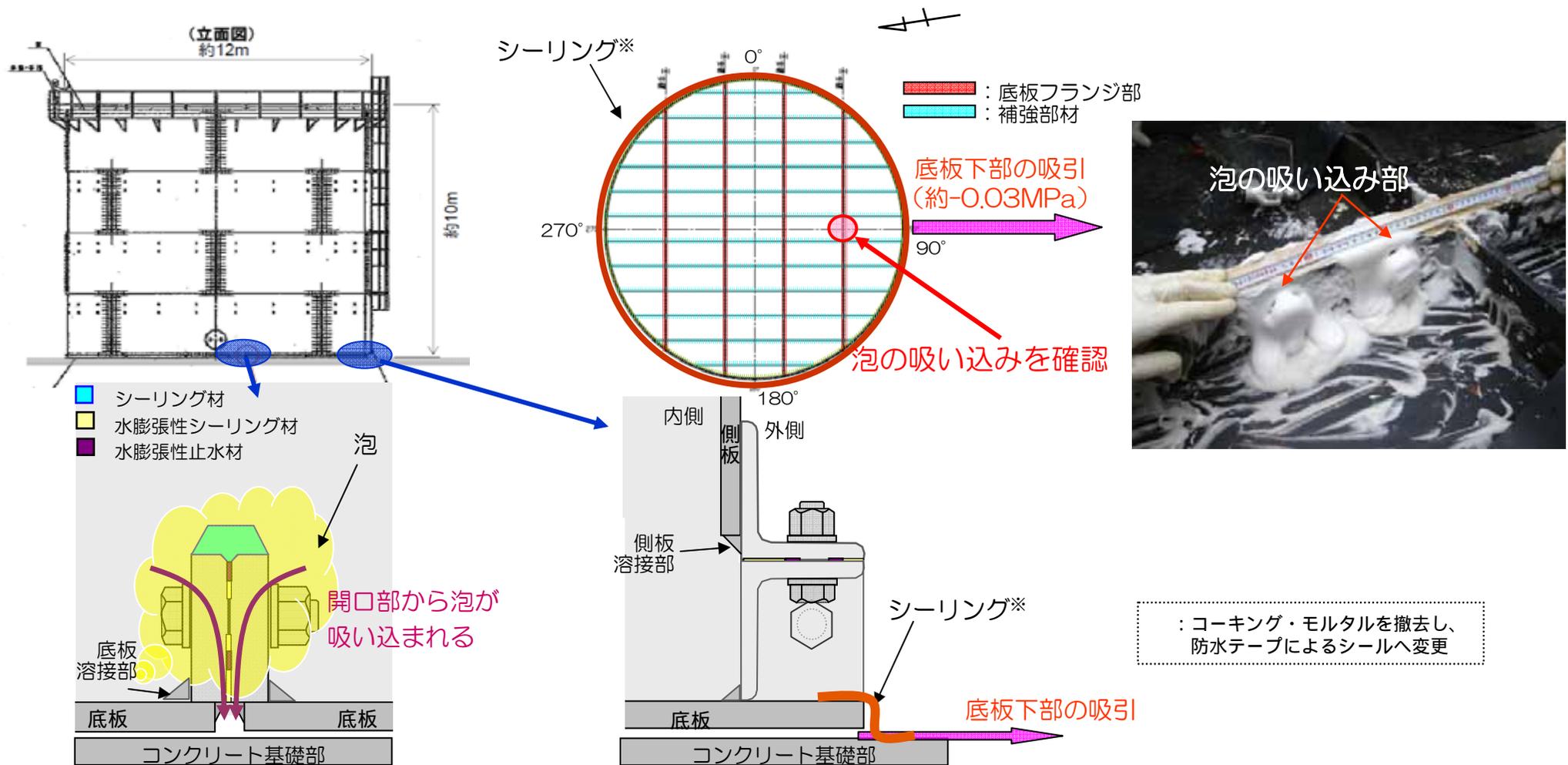


福島第一原子力発電所 H4エリア No.5タンク 底板等の調査状況について

平成25年10月8日
東京電力株式会社

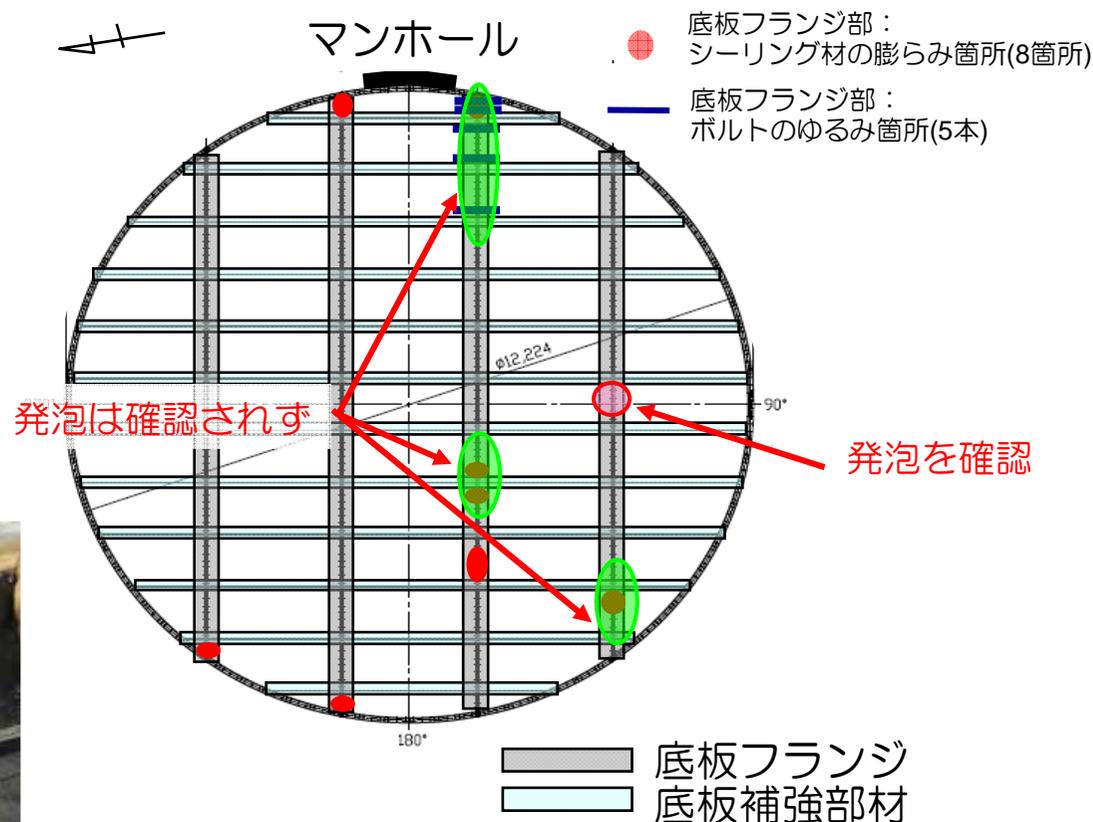
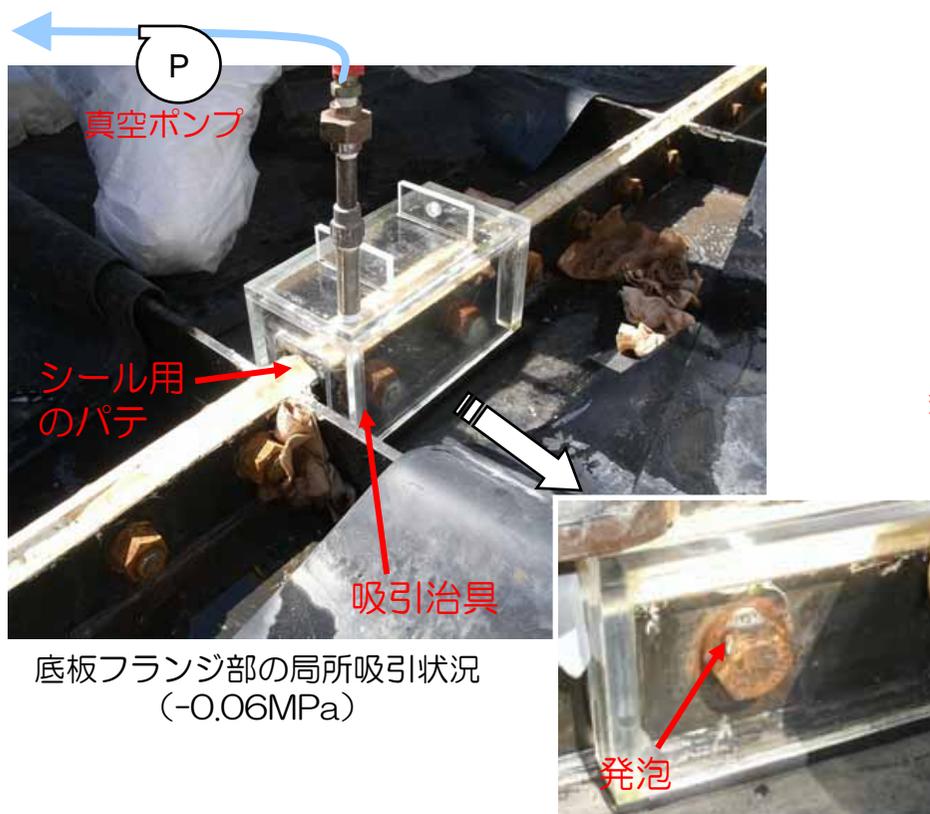
底板バキューム試験結果（お知らせ済み）

- 底板フランジ部等に泡を塗布し、底板下部を吸引したところ、底板フランジ部の隣り合うボルト2箇所から泡の吸い込みを確認した。



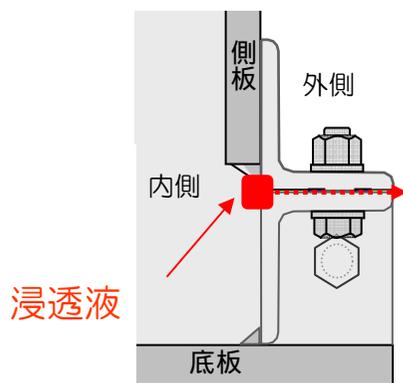
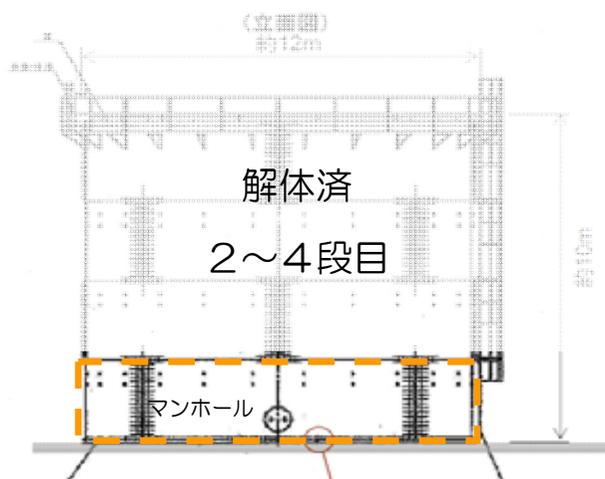
底板局所バキューム試験結果（お知らせ済み）

- 底板バキューム試験にて泡が吸い込まれた箇所、ボルトの緩みが確認された箇所、シーリングの膨らみが確認された箇所に対し、局所バキューム試験を実施したところ、泡が吸い込まれた箇所から発泡を確認した。また、ボルトの緩み部、シーリングの膨らみ部については、発泡は確認されなかった。

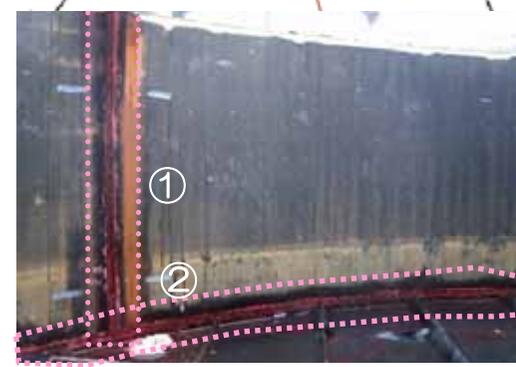


側板（1段目）解体時の確認結果

- 側板1段目の解体作業に伴い、フランジ部にPT剤（赤色の浸透液）を塗布して漏えいパスの可能性有無を確認した。
- 解体時の目視確認の結果、漏えいパスとなるような部位は確認されなかった。



解体状況（②付近側板側）



側板内面フランジ部 PT剤塗布状況



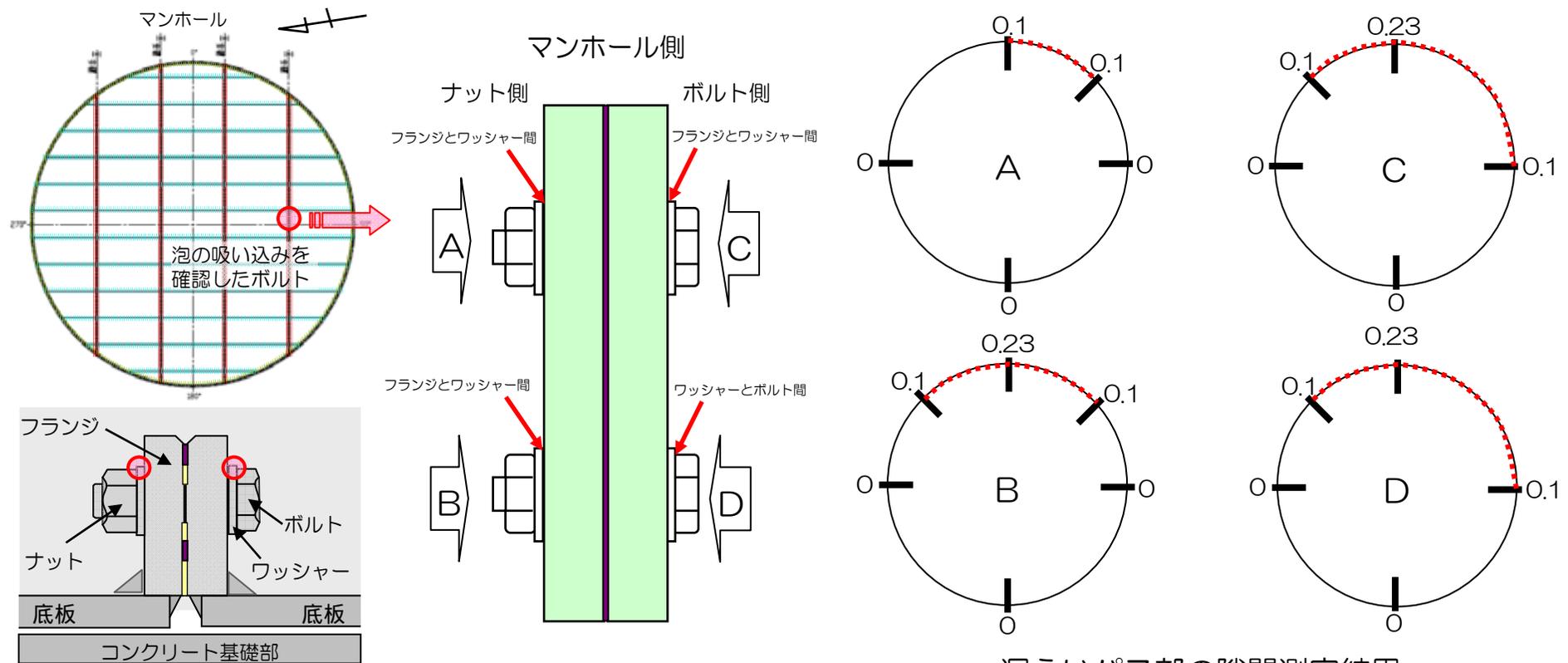
解体状況（①付近側板）



解体状況（②付近底板側）

漏えい箇所の詳細調査（漏えいパス部の隙間測定結果）

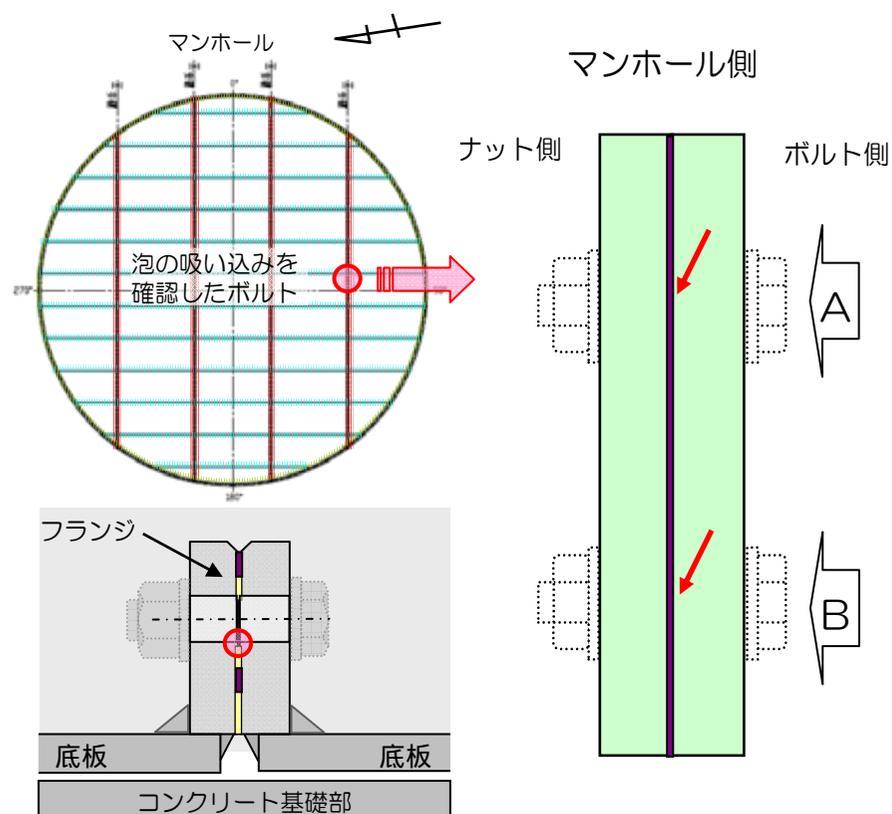
- 底板バキューム試験において漏えいパスの可能性が確認されたボルト部について、漏えいパス部の隙間（フランジとワッシャー間、ワッシャーとボルト間）を隙間ゲージにて測定した結果、最大で約0.23mmの隙間を確認した。



漏えいパス部の隙間測定結果
(いずれも天がボルト・ナットの上)

漏えい箇所の詳細調査（ボルト取外し後調査）

- 漏えいパスが確認された底板ボルト2本を取り外し、外観目視及びバキューム試験を実施した。
- 外観目視の結果、ボルト穴下部に、幅：約3mmで長さ：約22mm（マンホールに近い側）と幅：約2～3mmで長さ：約11mm（もう片方側）の開口部が確認された。
- バキューム試験の結果、確認された開口部から泡の吸い込みがあることを確認した。



A方向からの外観、バキューム試験状況

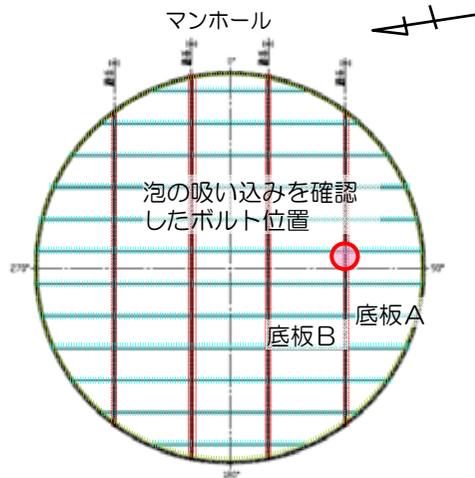


B方向からの外観、バキューム試験状況



底板解体時の確認結果

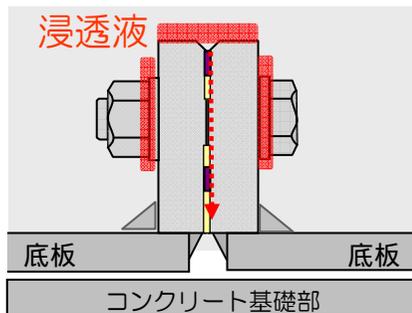
- 底板の解体作業に伴い、フランジ部にPT剤（赤色の浸透液）を塗布して漏えいパスの可能性有無を確認した。
- 解体時の目視確認の結果、既に確認されている漏えいパス部以外に漏えいパスとなるような部位は確認されなかった。
- 漏えいパス部は、パッキンの飛び出し、及びフランジ面の発錆が確認された。



底板内面フランジ部PT剤塗布状況



解体前の漏えいパス部底板裏面



解体状況（底板B側）



解体状況（底板A側）